

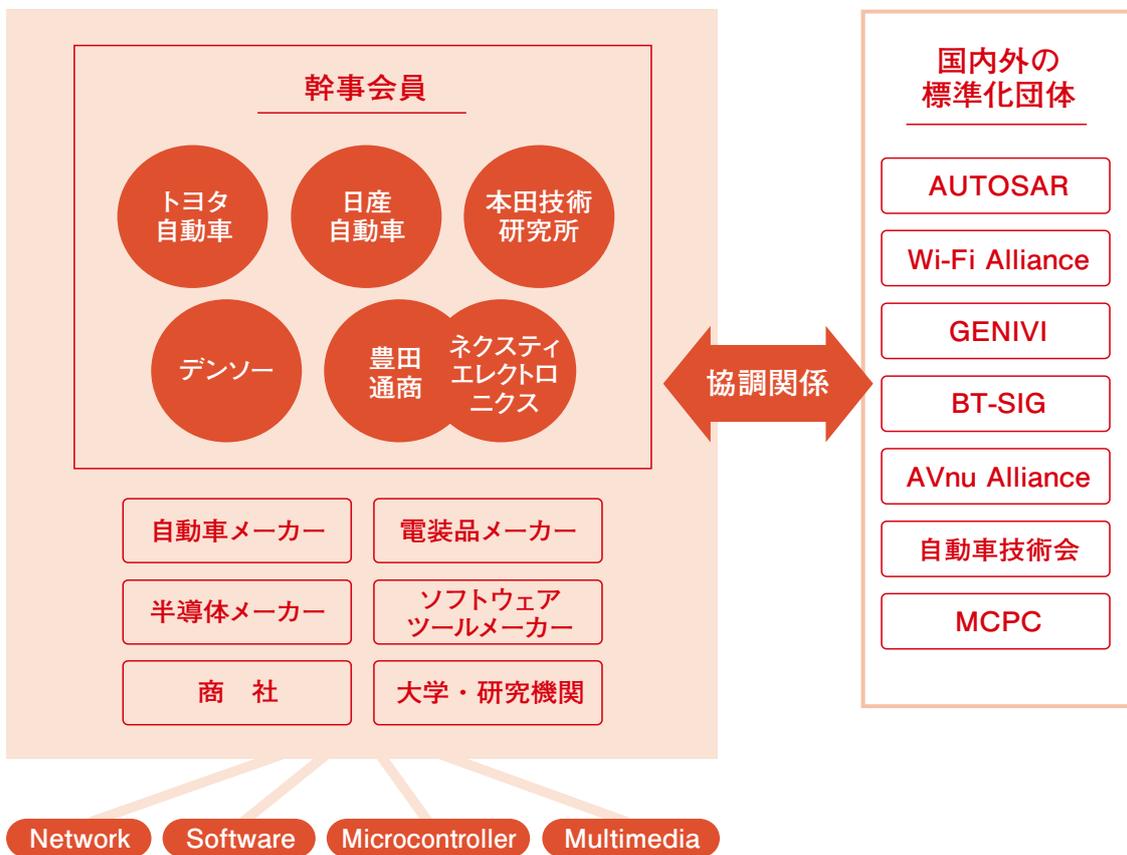
一般社団法人JASPAR

自動車メーカー、サプライヤー、半導体メーカー、組み込みソフトウェアメーカーの各業種から技術者が参画し、海外・国内の関連団体との協調の下、車載LAN、ソフトウェア、マイコン及び情報系領域における標準化を推進しています。

一般社団法人JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture) は、高度化・複雑化する車載電子制御システムのソフトウェアやネットワークの標準化、及び共通利用による開発の効率化と高信頼性確保をめざして2004年 9月に設立された標準化団体です。幹事会員として設立当初から参加してきた当社は現在も幹事会員の豊田通商のグループ会員として事務局を務め、会議とイベントの運営、会員・資金及び情報の管理、渉外業務などを通じて円滑な活動を支えています。

JASPARには自動車メーカー、サプライヤー、半導体メーカー、組み込みソフトウェアメーカーなど、カーエレクトロニクスに関わる様々な業種の会員企業から技術者が参画し、車載LAN、ソフトウェア、マイコン及び情報系領域における標準化活動を、海外・国内の関連団体と協調して推進しています。現在、自動車の情報セキュリティ、機能安全、車載LAN、マルチメディアなどの技術分野で検討を行うために、9つのワーキンググループを設けて各参加メンバーが活発な議論を展開。近づくにつる自動運転時代の到来や高度運転支援システムの普及を見据え、「現場で使える」「世界に通用する」をキーワードに、将来のカーエレクトロニクス領域の共通課題を解くための標準化技術確立をめざしてきます。

■ JASPARの会員構成と活躍分野



■ JASPARのミッション・ビジョン

将来のカーエレクトロニクス技術共通課題を標準化で解き、普及を図る。

- 自動車の先進技術を支えるソフト・通信・技術開発
- 共通基盤の開発
- 世界標準への挑戦

- 国際貢献
- 標準化
- 開発効率向上